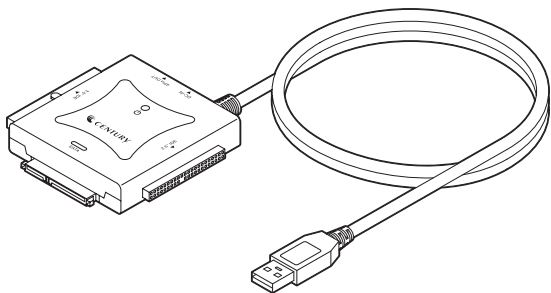


裸族の頭 USB3.0 SATA 6G

CRAISU3S6G 取扱説明書



■ もくじ

■ はじめに	3
• 安全上のご注意	3
■ 制限事項	8
■ ご使用の前に	8
■ 製品仕様	9
■ 製品内容	9
■ 各部の名称	9
■ 対応HDD/SSD	10
■ 対応機種	10
■ 対応OS	11
■ HDD/SSDの接続方法	12
• SATA HDD/SSDの場合	13
• 3.5" IDE HDDの場合	14
• PATA接続IDE機器のジャンパー設定について	15
• 2.5" IDE HDD/SSDの場合	16
■ PCとの接続	17
■ 電源の投入方法	18
■ 領域の確保とフォーマット	20
• Windows 10/Windows 8/Windows 7/Windows Vistaの場合	20
• Windows XPの場合	28
■ ハードウェアの取り外しについて	33
■ Mac OSでの使用方法 (Mac OS 10.6~10.10まで)	34
■ Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法	38
■ トラブルシューティング	42
■ FAQ	45
■ サポートのご案内	46

【はじめに】

安全上のご注意 〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

- ご使用前に、安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。
- 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します



警告

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。



注意

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

	注意指示事項		禁止(禁止行為)
	分解禁止		濡れた手での接触禁止
	水濡れ禁止		電源プラグを抜く
	接触禁止		ケガに注意

【はじめに】

安全上のご注意 〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

警告



煙が出る、異臭がする、異音がする場合は使用しない

煙が出る、異臭がする、異音がするときは、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異常状態のまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をしないでください。

内部に手を触れると、故障、火災、感電の原因となります。

点検、調整、修理は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。



機器の内部に異物や水を入れない

機器の内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異物が入ったまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、故障、けがの原因になることがあります。



電源の指定許容範囲を超えて使わない

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。

定格を越えた電圧での使用は、故障、火災、感電の原因となります。

警告



電源コード、接続コードに関する注意事項

以下の注意点を守ってご使用ください。

被膜が損傷したり、故障を招くだけでなく、ショートや断線で加熱して、火災、感電の原因になることがあります。

- 電源コードを無理に曲げる、ねじる、束ねる、はさむなどの行為をしないでください。
- コードの上に機器本体や重い物を置かないでください。
- ステープル、釘などで固定しないでください。
- 足を引っかけるおそれのある場所には設置しないでください。
- 電源プラグはホコリや水滴がついていないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
- ぐらぐらするコンセントには接続しないでください。



雷が鳴り出したら機器に触れない

雷が発生しそうなときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、雷が鳴りだしたら電源コードやケーブル、機器に触れないでください。感電の原因となります。



ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。



体に異変が出たら使用しない

体に異変が出た場合は、ただちに使用をやめて、医師にご相談ください。

機器に使用されている塗料や金属などによって、かゆみやアレルギーなどの症状が引き起こされることがあります。

【はじめに】

安全上のご注意 〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

注意



設置場所に関する注意事項

以下のような場所には機器を置かないでください。故障、火災、感電の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙が付きやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など、切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

注意



長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は、安全および節電のため、接続コードを外して保管してください。



機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は、必ず接続コードを外して行ってください。
接続したままの移動は故障の原因となります。



小さいお子様を近づけない

小さいお子様を機器に近づけないようにしてください。
小さな部品の誤飲や、お子様が機器に乗ってしまうなど、けがの原因になることがあります。



静電気にご注意ください

機器に触れる際は、静電気にご注意ください。
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

【制限事項】

- 本製品からのOS起動はサポートしていません。
- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。
このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。
必ず離してご使用ください。
- 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 本製品はIDE・SATA HDD/SSD接続専用です。
光学ドライブやMO、ZIP等のIDE・SATAデバイスには対応していません。

【ご使用の前に】

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただけますようお願いいたします。
- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
- Mac は Apple Inc. の登録商標です。
- 記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

本製品はHDD/SSDをむき出しのままPCに接続するための製品です。

本来、ケースなどに内蔵して使用するHDD/SSDを露出したまま通电させることになりま
すので、感電等の事故、およびHDD/SSDへのほこりや水分等の付着には十分ご注意ください。

また、静電気も機器を破壊する原因となりますので、HDD/SSDの取り扱い時には静電気
防止バンド等を用いて、故障の防止に努めてください。

【対応HDD/SSD】

〈HDD〉

■シリアルATA(SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps)

および IDE(Ultra ATA100以上推奨)仕様の2.5インチ/3.5インチHDD

※本製品はSATA 6GbpsのHDDが接続可能ですが、インターフェイス側がUSB3.0のため、転送速度はUSB3.0の上限速度となります。

※8TBまでのHDDで動作確認を行っております(2015年12月現在)。

対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。

また、Windows XPIはOSの制限により、2TB以上のHDDは使用できません。あらかじめご了承ください。

※SAS(Serial Attached SCSI)HDDは使用できません。

※3.3V駆動の2.5インチHDDは動作しません。

〈SSD〉

■MLCタイプの5V駆動2.5インチSATA

およびIDE SSD(SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps)

※1.8インチSSDや、ZIFソケット、MicroSATA、MiniSATAおよび特殊形状のSSD(Asus EeePC内蔵のSSD等)は接続できません。

また、SLCタイプのSSDにつきましては動作保証外とさせていただきます。

【対応機種】

※UASPでの動作には、UASP対応USBホストインターフェイスとWindows 8以降またはMac OS 10.8以降のOSが必要となります。

〈Windows〉

■USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB3.0モード動作時)

■USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB2.0モード動作時)

■CPUクロック 2GHz/メインメモリ 1GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨

動作確認済みUSB3.0ホストコントローラ

- | | |
|---------------------------------------|---|
| • Intel H87チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ | • Asmedia Asm 1042 USB3.0ホストコントローラ |
| • Intel Z77チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ | • RENESAS(NEC) μ PD72020x USB3.0ホストコントローラ |
| • ETron EJ168 USB3.0ホストコントローラ | • VLI VL800 USB3.0ホストコントローラ |
| • Frescollogic FL1100 USB3.0ホストコントローラ | |

※各ホストコントローラのドライバは最新のものをご使用ください。

〈Mac〉

■USB3.0インターフェイスポートを標準搭載したintel Mac

■USB2.0インターフェイスポートを標準搭載したintel Mac

※Power PC搭載のMacは動作保証外になります。

※USB3.0での動作は、USB3.0インターフェイスが標準搭載されているモデルのみで動作を保証します。USB3.0インターフェイスカード経由での動作は保証対象外となります。

【対応OS】

〈Windows〉

■Windows 10/Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vista/Windows XP(32bit)

※上記以外のOSでは動作しません。

※Windows RT、Starter Edition、Embeddedは動作対象外となります。

※Windows Updateにて最新の状態(Service Pack含む)にしてご使用ください。

最新でない環境での動作はサポート対象外となります。

〈Mac〉

■Mac OS 10.11.1/10.10.5/10.9.5/10.8.5/10.7.5/10.6.8/10.5.8

(2015年12月現在)

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

※本製品はHDD/SSD専用です。CD-ROM等の光学ドライブ、MO、ZIP等の機器は使用できません。

■注意

※本体上に複数のドライブ接続用コネクタがありますが、2つ以上のデバイスを同時に接続して使用することはできません。あらかじめご了承ください。

裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDD/SSDをケースに入れず、むき出し＝「裸」のまま手軽に使用することを想定して作られています。

しかし、内蔵用HDD/SSDは本来とてもデリケートな精密機器です。特に静電気やほこりに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDD/SSDを取り扱うようお願いいたします。

また、HDD/SSDを保管する時は高温多湿を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願いいたします。

デリケートな
裸族を
守るのう!



〔HDD/SSDの接続方法〕

〈HDD/SSD接続の前に〉



警告

・HDD/SSDを接続する前に、必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。本製品の電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。

- ・HDD/SSDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- ・HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

■注意

※すでにデータの入っているHDD/SSDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。



注意 ・各部品で手を切らないようにご注意ください。

〈HDD/SSDの接続方法〉

- インターフェイスや接続する機器によって接続方法が異なります。
 - ・SATA HDD/SSD → P.13
 - ・3.5" IDE HDD → P.14
 - ・2.5" IDE HDD/SSD → P.16
- HDD/SSDの接続が完了したら、P.17【PCとの接続】、P.18【電源の投入方法】をご確認のうえ、PCとの接続を行ってください。

■注意

※必ず接続する順番と電源を入れる順番を守ってください。
手順どおりに接続および電源を入れないと、正常に動作しないばかりか本製品および接続したHDD/SSDを破損する可能性があります。

〈使用上のご注意〉～必ずお読みください～

■HDD/SSDにケーブルを装着する場合の注意

※差し込む方向に十分注意してください。また、無理に押し込むと故障の原因となりますので、慎重に取り扱ってください。

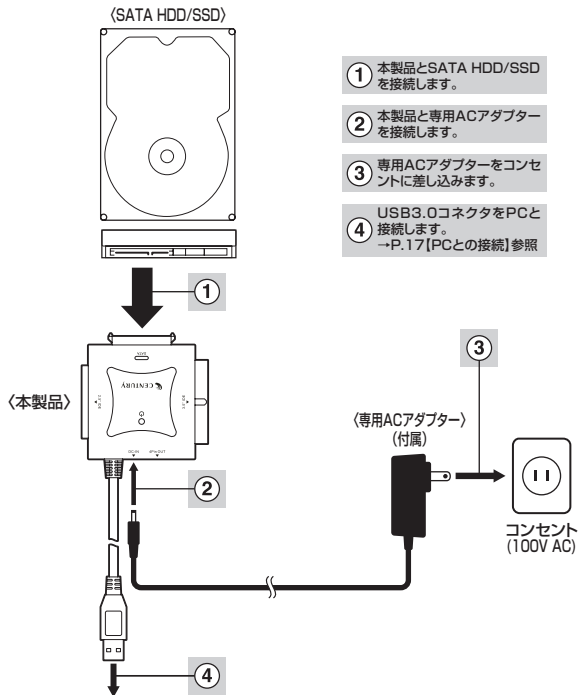
■HDD/SSDの設置場所に関する注意

※商品の性質上、HDD/SSDは周囲の影響を受けやすくなっています。
電気を通しやすいもの、例えば金属の上等では電源を入れたり、使用したりしないでください。接続したHDD/SSDがショート等を起こし、破損するおそれがありますので十分ご注意ください。

■SATA HDD/SSDの場合

番号順に接続してください。

※2.5" SATA HDD/SSDはUSBのバスパワーで動作するので、専用ACアダプターの接続は必要ありません。
ただし、動作が不安定な場合は専用ACアダプターをご使用ください。

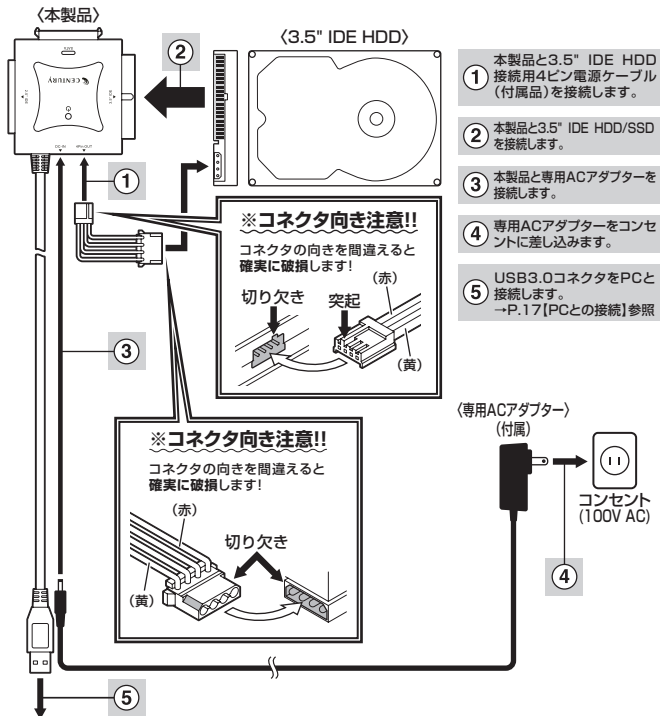


※取り外す際は、本製品の電源をオフにしてから逆の手順をたどってください。

[HDD/SSDの接続方法]

■3.5" IDE HDDの場合

番号順に接続してください。



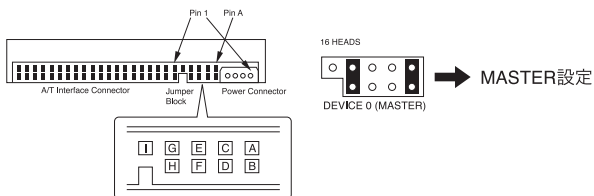
※取り外す際は、本製品の電源をオフにしてから逆の手順をたどってください。

■PATA接続IDE機器のジャンパー設定について

IDE機器の設定をMASTERに設定します。設定はIDE機器の取扱説明書をご参照ください。

※SingleモードのあるHDD(Western Digital製HDD等)の場合はSingleモードに設定してください。

[例] HITACHI製HDDの場合



■注意

※この設定は一例です。実際の設定はお使いのIDE機器の取扱説明書をご参照ください。

【HDD/SSDの接続方法】

■2.5" IDE HDD/SSDの場合

番号順に接続してください。

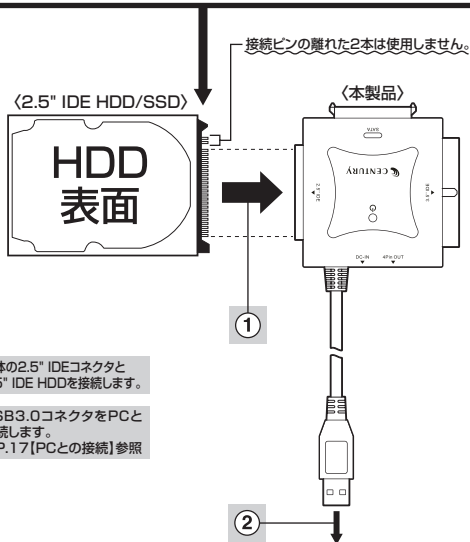
※2.5"IDE HDD/SSDはPCのUSBホストから電力の供給を受けて動作しますので、ACアダプターは使用しません。
ただし、動作が不安定な場合は専用ACアダプターをご使用ください。

※接続の表裏に注意!!

IDEコネクタおよび2.5" IDE HDDの表裏に注意してください!!

表と裏を **逆に接続すると IDE機器および本製品が 確実に故障
します!!**

PCに接続する前に、必ず正しく接続されているかをご確認ください。



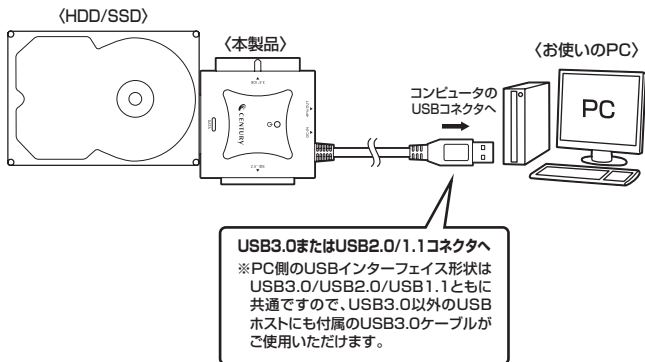
※取り外す際は、本製品の電源をオフにしてから逆の手順をたどってください。

[PCとの接続]

本製品とPCを下図のように接続します。

※必ずHDD/SSDの接続を完了してからPCに接続してください。

PCに接続したままHDD/SSDの取り付け、取り外しを行うと、HDD/SSDが認識しなかったり破損するおそれがあります。

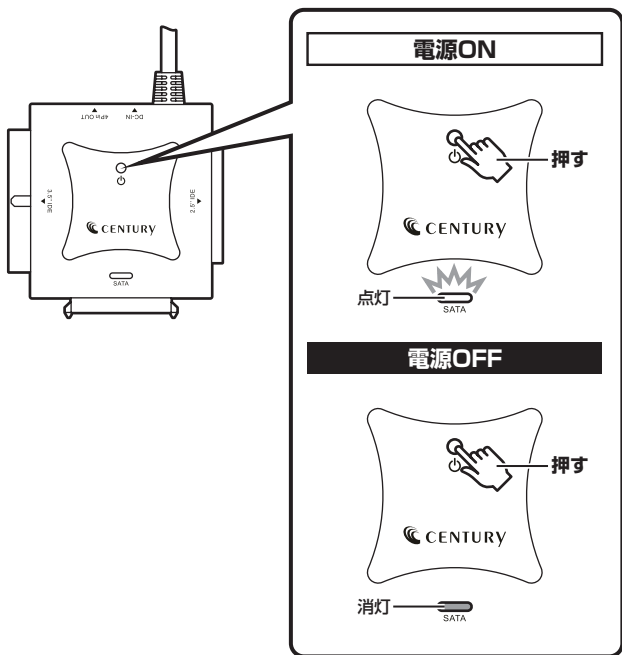


各ケーブル接続後、電源スイッチを入れる

※図はイメージです。

【電源の投入方法】

電源スイッチは一度押すと電源がONになり、電源ONの状態でもう一度押すと電源がOFFになります。



※電源OFF→電源ONを行うときは、電源をOFFにしたあと5秒程度待ってから電源をONにしてください。

【領域の確保とフォーマット】

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。



この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。

消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

■Windows 10/Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vistaの場合

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Windows 10】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows-10-format.html>



【Windows 8(8.1)】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows8-format.html>



【Windows 7】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows7-format.html>

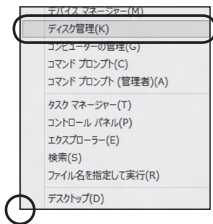


【Windows Vista】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windowsvista.html>



1.



□Windows 10/8(8.1)

画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。

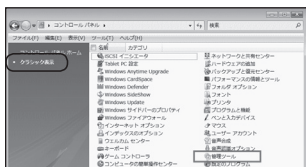
その後は手順.3にお進みください。



□Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。



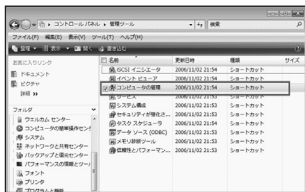
□Windows Vista

【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

【領域の確保とフォーマット】

2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

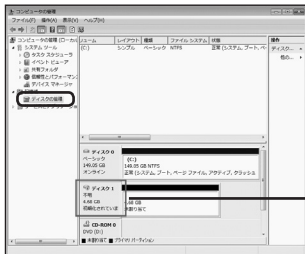
※このとき【ユーザーアカウント制御】ウィンドウが表示されます。

【続行】をクリックしてください。

続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。

システムの管理者にご相談ください。

3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

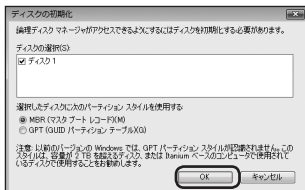
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

ディスクの初期化(I)

プロパティ(P)

ヘルプ(H)

4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いのないかを確認して【OK】をクリックします。

5.

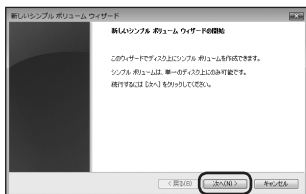


【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

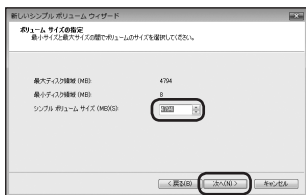
6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

MB(メガバイト)単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。

特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

【領域の確保とフォーマット】

8.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】
ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

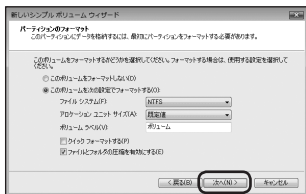
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

9.



【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

• ファイルシステム

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

• アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。

特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。

• ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

• クイックフォーマットする

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。

お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

• ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

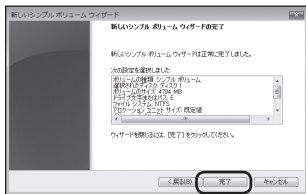
通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

【領域の確保とフォーマット】

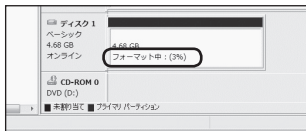
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

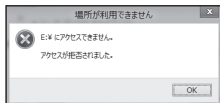
テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

11.



これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。



- フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

【領域の確保とフォーマット】

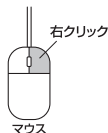
注意：フォーマットには、アドミニストレータ権限を持っているユーザーでログインして行ってください。

■Windows XPの場合

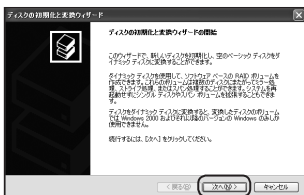
1.



スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。



2.



「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリックします。

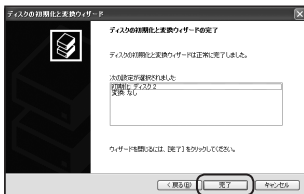
3.



「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。

署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

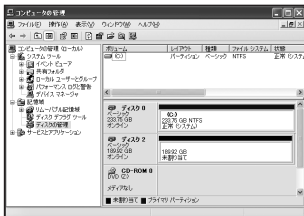
4.



「ディスクのアップグレードと署名ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

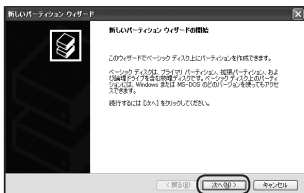
5.



次にパーティションの作成を行います。

「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成 (P)...」を選択します。

6.

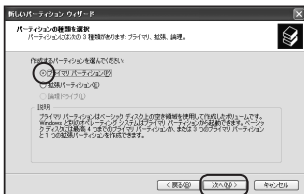


「パーティション作成ウィザード」が表示されます。

「次へ」をクリックします。

【領域の確保とフォーマット】

7.



「パーティションの種類を選択」ウインドウが表示されます。

「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。

※ひとつのディスク上に5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

8.

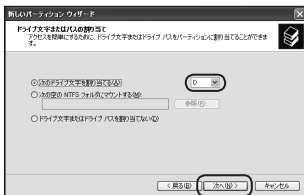


「パーティションサイズの指定」ウインドウが表示されます。

「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」をくり返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。

9.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

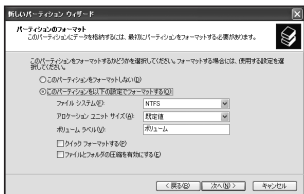
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍をご参照ください。

10.



「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。

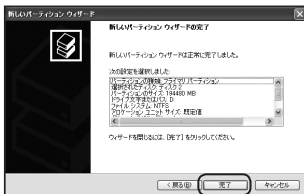
このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

※Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

- 使用するファイルシステム
NTFSとFAT32が選択可能です。
- アロケーションユニットサイズ
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。
- ボリュームラベル
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。
指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。
- クイックフォーマットする
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
- ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。
ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様のファイルの読み書き速度の低下をまねくようです。
詳しくは、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

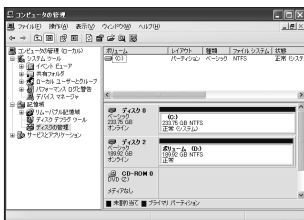
すべて設定して「次へ」をクリックします。

11.



「パーティション作成ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。
「完了」をクリックして閉じます。

12.



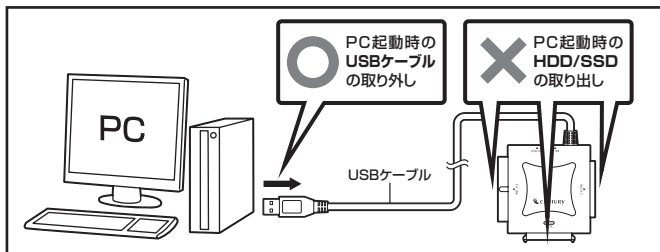
フォーマットが開始されます。
「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。
進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。
使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。



- フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

【ハードウェアの取り外しについて】

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。



1：本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。デバイス名は以下のように表示されます。

- Windows XP…………… USB大容量記憶装置デバイス
- Windows Vista …………… USB大容量記憶装置
- Windows 10/8(8.1)/7 …… USB to ATA / ATAPI Bridge

2：取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。
電源を切ってケーブルを取り外してください。

※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照のうえ、作業を行ってください。
「ハードウェアの取り外し」の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDD/SSDのデータが破損したり、消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」の処理を行ってください。

【Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで)】

本項では、Mac OSに新しいHDDを接続した際のフォーマット方法を説明します。

※Mac OS 10.11以降でフォーマットを行う場合は、巻末付録38【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】をご参照ください。



安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDD/SSDがある場合はあらかじめ取り外しを行い、新しいHDD/SSDのみを接続してください。

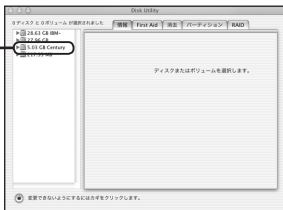
●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Macでのフォーマット方法】

<http://www.century.co.jp/support/faq/mac-format.html>



1.



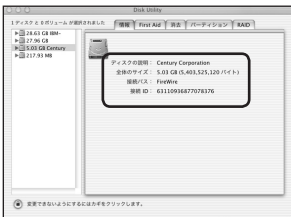
容量が一致する新しいHDD/SSD

アプリケーション>ディスクユーティリティを起動します。

起動すると左側にフォーマット可能ディスクの一覧が表示されますので、新しく接続したHDD/SSDと容量が一致するものを選択してください。

※他のHDD/SSDが表示されている場合はディスクユーティリティを一旦終了し、取り外し処理を行ってからもう一度ディスクユーティリティを起動してください。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

【Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで)】

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。

パーティション設定を変更できます。

- **ボリューム情報**：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。
- **名前**：作成するボリューム名を変更できます。
変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。
- **フォーマット**：作成するボリュームのフォーマットを選択します。
Mac OS標準、Mac OS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。
通常は Mac OS標準が Mac OS拡張を選択してください。
- **サイズ**：作成するボリュームのサイズを変更できます。
- **オプション**：Mac OS 9ディスクドライバをインストールチェックをすると、Mac OS 9で動作するドライバをインストールします。
- **分割**：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。
- **削除**：選択されているボリュームを削除します。
- **元に戻す**：直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、
キャンセルする場合は「キャンセル」を
クリックします。

5.



フォーマットが完了すると、デスクトップ
にHDDアイコンが表示されます。

取り外しをする場合は、このアイコンを
Dockの中のごみ箱にドロップします。

【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】



安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDDがある場合は、あらかじめ取り外しを行い、新しいHDDのみを接続してください。

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Macでのフォーマット方法(OSX El Capitan[Mac OS 10.11])】

<http://www.century.co.jp/support/faq/mac-osx-el-capitan-format.html>



1.



フォーマットされていないディスクを接続すると、メッセージが表示されますので、「初期化...」をクリックすると、ディスクユーティリティが起動します。

※手でディスクユーティリティを起動する場合は、アプリケーション>ユーティリティ>ディスクユーティリティを選択してください。

2.



ウィンドウ左側「外部」の下に接続されているディスクが表示されますので、フォーマットするディスクを選択します。

※フォーマットするディスクの容量等を確認して間違いがないか確認してください。

[Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法]

3.



① ウィンドウ上部にある「消去」ボタンをクリックすると、シートダイアログが表示されますので設定を確認します。

【名前】…ディスクの名前を入力します。

【フォーマット】…通常は「OS X 拡張 (ジャーナリング)」を選択してください。

【方式】…通常は「GUIDパーティションマップ」を選択してください。

※MacとWindows両方で利用したい場合は、フォーマットを「MS-DOS(FAT)」または「exFAT」、方式は「マスターブートレコード」を選択してください。

「MS-DOS(FAT)」は2TBより大きな容量のディスクでは利用できません。

exFATはOSのバージョン(過去のバージョン等)によっては、対応していない場合があります。

② 「消去」ボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

4.



完了のシートダイアログが表示されればフォーマット完了です。

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

→以下をお試しください。

- USBコネクタが正しく接続されているかをご確認する。
- パワー/アクセスLEDが点灯しているかを確認する。
- PCによっては接続したままOSを起動すると認識しないものがあるため、USBコネクタを接続しなおしてみる。

■電源ランプが点灯してもHDDが回転している音がしない

→配線が正しく接続されているかをご確認ください。

USB接続時は補助電源のコネクタを接続して動作をご確認ください。

また、付属のケーブル以外を接続されると故障や事故の原因となりますので、必ず付属のケーブルをご使用ください。

■HDDにアクセスしていないのに、パワー/アクセスLEDが点滅する

→ウイルススキャンや各ソフトのアップデートチェック、インデックス作成等、OSのバックグラウンド処理で本製品のHDDにアクセスする場合があります。

■スリープ、スタンバイ、休止状態から復帰するとフリーズする、アクセスできない

→本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイに対応しておりません。

スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。

■新しいHDD/SSDをセットしたが、マイコンピュータ内(Windows)、デスクトップ(Mac)にHDD/SSDのアイコンが表示されない

→新しいHDD/SSDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。

【領域の確保とフォーマット】または【Mac OS での使用方法】【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】をご参照のうえ、初期化の作業を行ってください。

- Windowsでお使いの場合→P.20【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。
- Macでお使いの場合→P.34【Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6～10.10まで)】

または、

P.38【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】

をご確認ください。

■すでにデータの入ったHDD/SSDを接続したが、マイコンピュータにHDD/SSDアイコンが表示されない

→内蔵専用のダイナミックディスク形式や特殊なフォーマット形式だった場合、そのまま使用できない場合があります。

この場合は、元の装置にHDD/SSDをもどし、データのバックアップ後、再度本製品に接続してHDD/SSDの初期化を行ってください。

■30分以上経ってもHDDのフォーマットが完了しない(Windows)

→HDDのフォーマット時、「クイックフォーマット」を選択せず通常のフォーマットを選択すると、フォーマットに時間がかかります。フォーマットを短時間で完了させたい場合は「クイックフォーマット」を選択してください。

詳しくは、P.20【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

■「CRAISU3S6G」からOSが起動しない

→OS起動はサポートしておりません。

■USB3.0接続時にUSB2.0として認識してしまう

→本製品の電源をONにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。

本製品の電源はOFFの状態でごケーブルを接続し、主電源スイッチをONにしてください。

■USB3.0接続時、接続してしばらく経つと認識されなくなってしまう

→USB3.0インターフェイス側のドライババージョンが古いと発生する場合があります。

ご使用のUSB3.0インターフェイスのドライバで、新しいドライバがリリースされていないかご確認ください。

■転送速度が遅い(USB接続時)

→USB1.1接続の場合バスの転送速度が遅いため、高速な転送は行えません。

おおよそ1MB/秒弱の転送速度となってしまいます。

■2.5" HDD/SSDがPCカードタイプのUSBインターフェイス経由で動作しない

→PCカードタイプのUSBインターフェイスは、電力供給が不足してバスパワー動作しないことがあります。その場合は、本製品に付属のACアダプターを使用して動作を確認してください。

【トラブルシューティング】

■2TBのHDDを接続したのに、認識される容量が1.8TB程度になってしまう

→計算方法の違いはないか、ご確認ください。

ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を

• **1MB = 1,000,000バイト**

で計算した値で示しています。

それに対し、一般的には、

• **1KB = 1024 バイト**

• **1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト**

• **1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト**

• **1TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024 = 1,099,511,627,776 バイト**

です。

たとえば2TBと表示されているドライブの場合、これを一般的なTBに換算してみると、

• **2,000,000,000,000 ÷ 1,099,511,627,776 = 約 1.8TB**

となり、200GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。

このような計算方法が(ハードディスクドライブメーカーでは)一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

■S.M.A.R.T情報が表示されない

→S.M.A.R.Tを参照するソフトによって対応が大きく異なり、表示できるものとできないものがあるようです。

弊社では表示に対応しているツールの提供はございません。

[FAQ]

Q：使用できるHDDの最大容量は？

A：本製品をPCに接続して使用する場合、最大で8TB(テラバイト)までとなります。
(2015年12月現在)

Q：カードリーダーのようにHDDを抜き差しして使うことは可能ですか？

A：残念ながらできません。本製品は電源を切った上で抜き差しをする必要があります。
電源を入れた状態でHDDを抜き差しすると、正常に認識しないばかりか、本製品ならびにHDDを故障させる可能性があります。

Q：他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか？

A：基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用になれない場合があります。ご使用になれない場合は、フォーマットを行う必要があります。
不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

Q：着脱可能回数は何回ですか？

A：本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。
HDD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q：Windows ServerやLinuxで動作しますか？

A：サポート対象外となります。
サポート対象外のOSに関しては弊社で動作確認を行っておらず、ご使用に関しては自己責任での範囲となります。
ドライバの提供や操作方法等をご案内できかねます。

Q：USBのバスパワーで動作しますか？

A：2.5" HDD/SSDはUSBのバスパワーで動作するので、専用ACアダプターの接続は必要ありません。
ただし、動作が不安定な場合は専用ACアダプターをご使用ください。

【サポートのご案内】

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市十余二翁原^{とよみたおきせはら}240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】<http://www.century.co.jp>

【Mail】support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。
どうぞよろしくお願ひいたします。

～弊社商品につきましてのアンケート～

【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.